

令和 7 年度 第 2 回津有区地域協議会 次第

日時：令和 7 年 7 月 15 日（火）午後 6 時 30 分～
会場：津有地区公民館 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 報告事項

雄志中学校と牧中学校の統合について

(2) 自主的な審議

自主的審議事項について

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・日時：令和 7 年 月 日（ ）午後 6 時 30 分～
- ・会場：津有地区公民館 大会議室

(2) その他

5 閉会

〔資料・配布物〕

○事前 ・次第

- ・資料 1 牧中学校の廃止について（諮問）
- ・資料 2 牧中学校の廃止について（答申）
- ・資料 3 雄志中学校と牧中学校の統合について
- ・資料 4 上越市の社会教育事業の「学びのグランドデザイン」
- ・資料 5 令和 6 年度 津有地区公民館 事業実施報告
- ・資料 6 津有地区公民館だより（令和 7 年 3 月 25 日号）
- ・資料 7 津有地区公民館だより（令和 7 年 5 月 25 日号）
- ・資料 8 上越の魅力再発見！米麴と三五八の素づくり
- ・資料 9 津有区地域協議会町内会に「お聴きしたいこと」の骨子について
- ・資料 10 令和 7 年度地域協議会質問票集計結果（速報）



上教総第 4 3 8 号
令和 7 年 6 月 1 9 日

牧区地域協議会
会 長 西 山 新 平 様

上越市長 中 川 幹 太
(教育委員会教育総務課)

牧中学校の廃止について（諮問）

下記の事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 2 項の規定により意見を求めます。

記

諮問第 100 号 牧中学校の廃止について
※ 諮問内容については、別紙のとおり

〔諮問理由〕

牧中学校の学習環境の改善に向けて、同校の保護者と意見交換を重ねるとともに、地域住民の意向を把握した上で検討を行った結果、雄志中学校との統合により望ましい学習環境を確保する必要があると判断したことから、牧中学校の廃止に関し、牧区の住民の生活に及ぼす影響という観点から意見を求めるもの



別紙

現況	諮問内容								
1 設置 学校教育法（昭和22年法律第26号）第38条及び第49条の規定に基づき、上越市立中学校を設置する。 2 学校の名称及び位置 <table><tr><th>名称</th><th>位置</th></tr><tr><td>上越市立牧中学校</td><td>上越市牧区小川 1752 番地</td></tr></table>	名称	位置	上越市立牧中学校	上越市牧区小川 1752 番地	1 廃止する中学校等 <table><tr><th>名称</th><th>廃止予定日</th></tr><tr><td>上越市立牧中学校</td><td>令和9年3月31日</td></tr></table> ※同年4月1日付けで上越市立雄志中学校に編入統合予定	名称	廃止予定日	上越市立牧中学校	令和9年3月31日
名称	位置								
上越市立牧中学校	上越市牧区小川 1752 番地								
名称	廃止予定日								
上越市立牧中学校	令和9年3月31日								

※ 学校の状況等については参考資料1のとおり、位置図については参考資料2のとおり



参考資料 1

学校の状況等

○ 建物の概要

項目		牧中学校	(参考) 雄志中学校
敷地面積		24,104 m ²	19,128 m ²
屋外運動場面積		8,987 m ²	12,427 m ²
校舎	延床面積	2,920 m ²	3,461 m ²
	建物構造	鉄筋コンクリート造 3 階建	鉄筋コンクリート造 3 階建
	建築年月	昭和 61 年(1986 年)9 月	昭和 63 年(1988 年)11 月
体育館	延床面積	854 m ²	1,243 m ²
	建物構造	鉄筋コンクリート造 2 階建	鉄骨造 2 階建
	建築年月	昭和 62 年(1987 年)12 月	平成 2 年 (1990 年) 2 月
改修履歴		※大規模改修等なし	R 6 体育館大規模改修 (外壁、屋根、トイレ、給水改修)

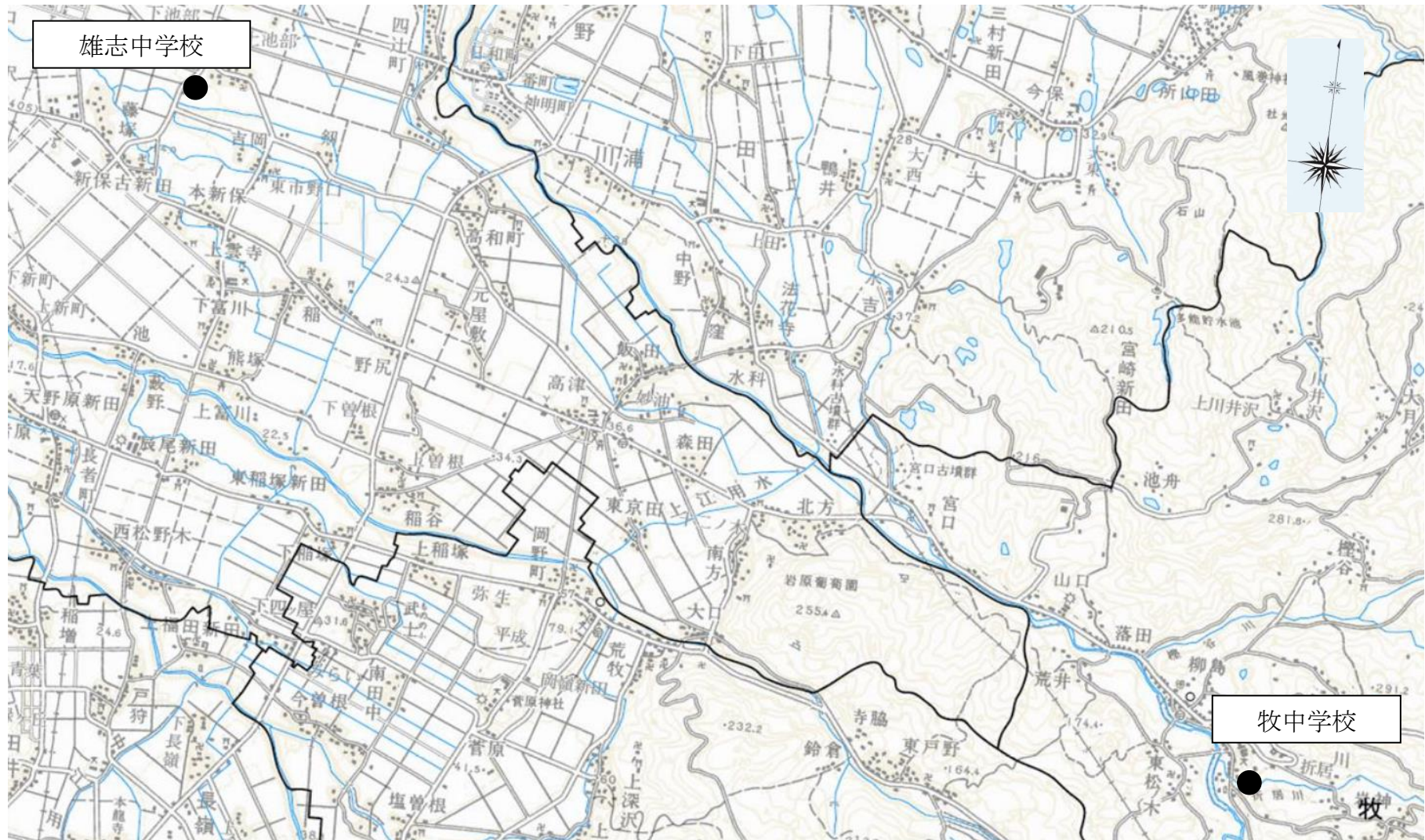
○ 生徒数の推移（見込み） ※網掛けは複式相当の学級。特別支援学級の生徒数を含む人数

学校名	牧中学校				(参考)雄志中学校				(参考)牧中学校・雄志中学校の合計			
学 年	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
令和6年度	7	6	6	19	43	54	39	136	50	60	45	155
令和7年度	7	7	7	21	38	43	55	136	45	50	62	157
令和8年度	6	7	7	20	51	38	43	132	57	45	50	152
令和9年度	7	6	7	20	54	51	38	143	61	57	45	163
令和10年度	7	7	6	20	45	54	51	150	52	61	57	170
令和11年度	2	7	7	16	50	45	54	149	52	52	61	165
令和12年度	1	2	7	10	35	50	45	130	36	52	52	140
令和13年度	1	1	2	4	43	35	50	128	44	36	52	132



参考資料 2

学校の位置図



出所：上越市全図



令和 7 年 6 月 2 5 日

(宛先) 上越市長

牧区地域協議会
会長 西 山 新 平

牧中学校の廃止について（答申）

令和 7 年 6 月 1 9 日付け上教総第 4 3 8 号で諮問のあった、諮問第 1 0 0 号 牧中学校の廃止について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

雄志中学校と牧中学校の統合について

令和7年7月

雄志中学校と牧中学校の統合について、6月開催の牧区地域協議会で諮問を行い、委員の皆様からご理解をいただきました。

牧中学校は、令和9年4月1日に雄志中学校と統合します。

今後は、雄志中学校と牧中学校で交流活動を行うなど、生徒や保護者の皆様が安心して統合の日を迎えられるよう両校での準備を行っていきます。雄志中学校区の皆様におかれましては、今後も変わらず生徒を見守りいただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。

1 雄志中学校の牧中学校との統合における概要

【統合予定日】	令和9年4月1日
【通学方法】	・市の関係各課で協議して、保護者の皆様に通学方法等について説明し、ご意見をいただきながら決めます。
【学校間の連携】	・統合前に授業・行事等において両校生徒の交流を図ります。 ※ オンラインの活用や行事を一緒に行うなど、交流の仕方を学校間で協議し、計画的に実施していきます。 ・統合後の学習活動や、後援会組織等について必要な調整を行い、一体感の醸成と円滑な移行を図ります。
【その他の環境】	・制服及び体操着は、これまでの統合の例では、2年間の移行期間を設けています。両校で協議し、保護者の皆様にお伝えします。

2 今後の主な予定

項目	R7年8月～R8年3月	4月～8月	9月～12月	令和9年1月～3月	4月
PTA等の動き	※雄志中にPTA組織はありませんが、統合前後の保護者・学校の連携について牧中保護者の思いに配慮できるように協議の場を設定します。	・統合に向けたスケジュールの各校での説明 ・牧中PTA三役会：保護者連携について協議	・牧中保護者：統合に伴う学校説明会実施(学校生活・PTA組織がないことに係る説明等)	・牧中：PTA会計清算	統 合
後援会等の動き		・合同正副会長会：後援会組織・会費等について協議	→各校後援会役員に説明・協議 →合同正副会長会で決定	・各町内会へ周知	
通学について	・関係各課による、通学方法、路線経路、乗降場所等の協議	・牧中保護者へ検討状況説明	・牧中保護者と運行経路、乗降場所の確認 ・バス運行時刻の確認と調整	・バスの試験運行(スクールバスの場合) ・運行の最終確定(時刻表、利用者等)	
生徒交流活動等	・計画立案(実施内容・日時・回数)	・計画に基づき交流活動や合同学習等を実施			

裏面に続く

【参考】 生徒数の推移（R7.5.1 現在）

学校名 学 年	牧中学校				雄志中学校				(参考)牧中・雄志中の合計			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
令和7年度	7	7	7	21	38	43	55	136				
令和8年度	6	7	7	20	51	38	43	132				
令和9年度	7	6	7	20	54	51	38	143	61	57	45	163
令和10年度	7	7	6	20	45	54	51	150	52	61	57	170
令和11年度	2	7	7	16	50	45	54	149	52	52	61	165
令和12年度	1	2	7	10	35	50	45	130	36	52	52	140
令和13年度	1	1	2	4	43	35	50	128	44	36	52	132
令和14年度	5	1	1	7	34	43	35	112	39	44	36	119
令和15年度	1	5	1	7	43	34	43	120	44	39	44	127
令和16年度	3	1	5	9	29	43	34	106	32	44	39	115
令和17年度	2	3	1	6	30	29	43	102	32	32	44	108
令和18年度	0	2	3	5	26	30	29	85	26	32	32	90
令和19年度	3	0	2	5	25	26	30	81	28	26	32	86

※表の色付きは複式学級
相当の児童数

※R8 年度以降の児童数
は、R7 年 5 月 1 日現在
の住民基本台帳の人数
から推計（附属小、特別
支援学校、校区外等へ
通学する可能性のある
児童を含む）

【担当】 ・ 上越市教育委員会教育総務課 担当：小池、三輪
TEL：025-545-9262 FAX：025-545-9272

＜目指す姿＞

学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ

＜基本方針＞

社会教育事業の
アプローチにより、
上越市の未来を担う
人材を育成します

人をはぐくむ

地域をつなぐ

育成した人材が
課題解決に向けた
行動を起こすことで
地域をつなぎます



市民が身近な学びの場に集い、
わくわくする学びの楽しさを
知り、学びを深め、行動する
循環を生み出します

＜5つの事業の柱＞

社会教育事業を5つの視点で取り組むことにより、市民の自己実現の達成や
地域課題等の解決に向けたきっかけづくりなど、主体的な学びを実践する
ための下支えを進めていきます

1

学びのきっかけづくり

2

未来をひらく人づくり

3

人をはぐくむ 家庭環境づくり

4

踏みえた地域づくり
地域や社会の課題を

5

行動する人への支援

＜令和7年度 事業分類＞

青少年(0～18歳)期 6歳 12歳		成人期	高齢期
1 学びのきっかけづくり (4事業)		誰もが生涯にわたって学ぶことができる機会を提供し、主体的な学びへの意欲を高め、交流の輪を広げる	
生涯学習情報の提供		趣味・教養講座	
体育・レクリエーション講座		出前講座	
2 未来をひらく人づくり (7事業)		地域での学びや地域との関わりを通じて、主体的に学ぶことの楽しさや喜びを知り、子どもたちのチャレンジ精神とふるさとへの愛着を育てる	
青少年教育活動事業		部活動の地域展開（生涯学習の推進）	
夏休み☆子どもつどいのひろば		学び愛フェスタ（生涯学習の推進）	
こうみんかんキッズフェスタ		3 人をはぐくむ家庭環境づくり (5事業)	
謙信KIDSプロジェクト		家庭、学校、地域が連携し、ともに学び、子どものすこやかな育ちを支える	
上越科学館 新展示物		家庭教育支援講座、親子活動講座	
部活動の地域展開（生涯学習の推進）		地域学校協働活動推進員の活動（育成会議支援）	
学び愛フェスタ（生涯学習の推進）		上越市小中学校 PTA連絡協議会支援	
3 人をはぐくむ家庭環境づくり (5事業)		子ども交流活動支援	
地域学校協働活動推進員の活動（育成会議支援）		二十歳を祝うつどい (18歳はがき・R2代替行事)	
上越市小中学校 PTA連絡協議会支援		4 地域や社会の課題を踏まえた 地域づくり (6事業)	
子ども交流活動支援		地域課題や現代課題を学び、課題解決に向けた意識を高めることにより、 豊かな地域社会づくりにつなげる	
4 地域や社会の課題を踏まえた 地域づくり (6事業)		小・中学生学習会	
小・中学生学習会		社会同和教育・人権教育	
社会同和教育・人権教育		若者の居場所「Fit」の運営を通じた 義務教育終了後の支援と支援ネットワークの構築	
若者の居場所「Fit」の運営を通じた 義務教育終了後の支援と支援ネットワークの構築		街頭指導、特別街頭指導の実施	
街頭指導、特別街頭指導の実施		地域・現代課題講座	
地域・現代課題講座		ふるさと未来づくり事業	
ふるさと未来づくり事業		5 行動する人への支援 (5事業※再掲1)	
5 行動する人への支援 (5事業※再掲1)		芸術・文化に親しむ場の提供や、意欲を持って行動する人・団体を支援すること により、持続可能な活動と未来への学びの輪をつなげる	
(再掲)ふるさと未来づくり事業		(再掲)ふるさと未来づくり事業	
(再掲)ふるさと未来づくり事業		分館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル	
分館事業、ボランティア活動、団体・サークルや地域活動への支援、生涯学習フェスティバル		市展、県展の開催	
市展、県展の開催		市民芸能祭の開催	
市民芸能祭の開催		後援、共催による事業支援	
後援、共催による事業支援			

令和6年度 津有地区公民館 事業実施報告

1 学びのきっかけづくり

◎講座名:編み物で心を癒す「ニットセラピー」

○分 類:趣味・教養講座

○学習テーマ:編み物を無心で編むことで気持ちを落ち着かせることにより、リラックス効果があるとされている「ニットセラピー」を通じて、楽しみながら自身の健康を促進するとともに、参加者同士の交流を深める。

○内 容:

対象 年齢層	回数	期日	講師	会場	募集 人数	参加 人数
成人	2	①12/ 5(木) ②12/12(木)	-	津有地区公民館	15 人	15 人

2 未来をひらく人づくり

◎講座名:戸野目小・諏訪小交流学習会(諏訪・津有地区公民館合同事業)

○分 類:青少年活動事業

○学習テーマ:戸野目小学校・諏訪小学校と連携し、統合に向けて交流学習を行い、交流を深める。

○内 容:①仲間作り・森遊び ②偉人学習(芳澤謙吉/前島密)

対象 年齢層	回数	期日	講師	会場	募集 人数	参加 人数
青少年	2	① 6/25(火)	妙高自然の家職員 玉木 政彦さん 東條 秀大さん	二貫寺の森	-	※1
		②11/15(金)	芳澤謙吉翁顕彰会 寺田 喜男さん 前島密記念館館長 利根川 文男さん	・芳澤謙吉記念館 ・芳澤記念公園 ・前島密記念館	-	※2

※1) 6月25日参加人数

諏訪小学校	戸野目小学校	計
7人(3年生4人、4年生3人)	20人(4年生)	27人

※2) 11月15日参加人数

諏訪小学校	戸野目小学校	計
10人(5年生5人、6年生5人)	25人(5年生)	35人

◎講座名:津有キッズ体験

※参加者が集まらず中止

○分 類:青少年活動事業

○学習テーマ:体験活動を通し、津有地区内の戸野目小学校、上雲寺小学校児童の交流を深める。

○内 容:オリエンテーリング、マイスプーンづくり

対象 年齢層	回数	期日	講師	会場	募集 人数	参加 人数
青少年	1	10/20(日)	-	国立妙高青少年 自然の家	15 人	-

◎講座名:夏休み☆子どもつどいのひろば

○分 類:夏休み☆子どもつどいのひろば

○学習テーマ:夏休み期間中、地域の子どもが自由に活動する場所を提供する。

○内 容: ①平和学習・スライムづくり

②ボッチャ

対象 年齢層	回 数	期日	協力者	会場	募集 人数	参加 人数
青少年	2	①7/26(金)	上越市多文化共生課 中林真由美さん 北山由子さん	津有地区 公民館	-	12 人
		②7/31(水)	すこやかサロン津有			6 人

3 人をはぐむ家庭環境づくり

◎講座名:家庭教育支援講座

○分 類:家庭教育支援講座

○学習テーマ:小学校PTAと連携し、子どもが健やかに育つよう家庭の教育力向上を図る。

○内 容:学童期の子どもの成長と生活に関わる講座を行う。

対象 年齢層	回数	期日	講師	会場	募集 人数	参加 人数
成人	1	9/19(木)	教育委員会事務局 学校教育課 指導係 臨床心理士長 梶原 亜紀子さん	戸野目小学校	-	19 人

※上雲寺小学校独自で実施するため今年度なし

4 地域や社会の課題を踏まえた地域づくり

◎講座名：地域につなげよう！伝統文化

○分 類：ふるさと未来づくり事業

○学習テーマ：民俗芸能「八社五社」について、歴史や地域との関わりを学び、地域で保存・伝承につなげていく意識を高める。

○内 容：①「地域と神社」八社五社に関わる神社の歴史と地域の関わりなどを学ぶ。

②式内社めぐり～居多神社の歴史～

③「次世代へつなぐ」地域で里神楽を守り伝承している活動団体、桑谷里神楽伝承会主催の「上弦の月くびき野里神楽共演会」を現地で鑑賞

対象 年齢層	回数	期日	講師	会場	募集 人数	参加 人数
成人	3	①9/11(水)	諏訪神社 宮司 近藤正秀さん	津有地区公民館	15 人	18 人
		②9/18(水)	居多神社 宮司 花ヶ崎盛明さん	居多神社		
		③9/28(土)	-	谷浜小学校		

◎講座名：家庭でできる食のSDGs

○分 類：地域・現代課題講座

○学習テーマ：”野菜の作りすぎで消費できない“といった地域課題を解決するために「食品ロス」や「フードバンク」について学び活用する。また、料理を通して「食のSDGs」を学び地球環境を考えるきっかけとし、参加者同士の親交を深める。

○内 容：①エネルギー削減につながる地産地消促進にむけた料理を学ぶ。

②食品ロスやフードバンクについて正しく理解し学ぶ。講話後、フードバンク協力店舗へ行き、食品ロスを減らすための買い物のポイントを学ぶ。

③環境負荷抑制にむけたフードロス削減の料理を学ぶ。

対象 年齢層	回数	期日	講師	会場	募集 人数	参加 人数
成人	3	①7/10(水)	JA えちご上越営農部 農業政策課 伊川杏奈さん	津有地区公民館	10 人	12 人
		②7/17(水)	特定非営利活動法人 くびき野 NPO サポート センター 新保 絵梨さん	・上越市教育プラザ 研修棟 中会議室 ・上越あるるん村		
		③7/24(水)	JA えちご上越営農部 農業政策課 土岐恵さん	津有地区公民館		

5 行動する人への支援

行事名	期日	内容	会場	参加人数
津有地区文化祭 (津有地区地域づくり 協議会との共催)	11/9(土)～ 11/10(日)	地域住民、公民館利用 団体の出展作品を展示。 および、ステージ発表。	津有地区公民館	270 人

津有区地域協議会 町内会に「お聴きしたいこと」の骨子について

1 町内会への「質問票」配布目的

津有区地域協議会では、地域の課題について自主的な審議を進めるに当たり、委員が地域における様々な分野のコミュニティの現状を知るところから取り組んでいる。

については、地域コミュニティの最小単位である町内会から、活動状況や役員構成などの現状についてお聴きし、地域協議会での自主的な審議の方向性とテーマ設定をするための参考とする。

2 集計結果利活用方法

地域協議会で上記のとおり審議の参考とするほか、津有区内での課題共有のため、「地域協議会だより」で発信する。

3 回答期限

令和 7 年 6 月中旬 （2 週間程度）

4 質問票の配布方法

広報 5 月 25 日発行号の配布時に町内会長宛連絡便に同封

5 調査票回収方法

紙ベース（返信用封筒同封）または Web（二次元コードから Google アンケートを用いて）回答

6 調査対象（依頼先）

町内会長及び子供会長

7 回答基準日

令和 7 年 5 月 1 日時点

8 集計方法

Google アンケートを用いて集計

9 集計結果の周知方法

津有区地域協議会だよりで回覧

10 各項目の目的と、設問の設定理由

(1) 町内会活動について

【目的】町内会の活動状況を把握する。

設問		設定理由
問 1	町内会の組織	どういった組織があるのか知りたい
問 2	町内会行事、活動	防災・防犯、生活環境、行事など、町内会による日常生活に関する活動内容を知りたい
問 3	問 1 の縮小状況	人口減少や高齢化が進む中、活動の存続状況を把握したい
問 4	問 3 の理由	
問 5	防災対策の実施状況	近年地域住民が特に不安に感じている災害対応や高齢者世帯に関する地域の具体的な取組について把握したい
問 6	高齢者のみ世帯のコミュニケーションの場の設置状況	
問 7	高齢者のみ世帯の生活状況	
問 8	町内会活動の課題	町内会が抱えている課題を把握したい
問 9	今後の活動の方向性 (課題解決に向けた取り組み)	町内会の課題に対する自らの取組を把握したい
問 10	町内会活動に対する 想い	自由記述

(2) 町内会役員について

【目的】人口減少と高齢化が進む中、どの分野においても「担い手不足」が挙げられているため、町内会における現状を把握する。

設問		設定理由
問 1	役員構成	役員（執行部）がどの年齢層や性別に偏りがあるか把握したい
問 2	問 1 の女性の割合	
問 3	問 1 の就労者の割合	
問 4	役員や活動の担い手不足に関する感想	町内会の「担い手不足」に対する危機感を把握したい
問 5	役員の選出方法	役員の選出方法を知りたい
問 6	役員確保のための工夫	役員の成り手確保のための工夫について、参考事例を知りたい

(3) 子供会活動について

【目的】 少子化が進む中、「子供会」の活動状況について確認する。

設問		設定理由
問 0	回答者	町内会長以外の回答者である場合に確認
問 1	子供会の設置状況	町内会単位での子供会の存続状況を把握したい
問 2	回答：「ある」 子供会への加入状況	他地域で加入率が低いことが挙げられるため、 状況を把握したい
問 2-2	子供会行事、活動	子供会による行事や活動内容を知りたい
問 2-3	役員の確保方法	役員の確保方法の参考事例を知りたい
問 3	回答：「ない」 これまでの設置状況	町内会単位での子供会をなくしたのか、これま でもなかったのか知りたい
問 3-2	子供会がない理由	子供会を「なくした」、「ない」理由を知りたい
問 4	子供会活動に対する 思い	自由記述

令和7年度津有区地域協議会質問票 集計結果(速報) 資料10

- 1 調査目的
津有区地域協議会での自主的な審議の方向性とテーマ設定をするため。
- 2 調査期間
令和7年5月25日～6月15日
- 3 調査対象
津有区町内会長及び子ども会長
- 4 調査方式
 - ・ 複数項目からの選択及び記述
 - ・ 32町内会の会長へ質問票を紙ベースで配布
- 5 回答人数
32町内会（うち、紙回答28人、Web回答4人 …Web回答率12.5%）
- 6 無効回答の扱い
回答無しは「無回答」で集計し、（n）に含む
- 7 その他
複数回答可の回答割合の計は100%以上となる

1 町内会活動について

【目的】町内会活動の活動状況を把握する。

設問	選択肢	回答数	割合
問1 町内会にはどのような組織がありますか （複数回答可） n = 32	役員会（協議会、理事会など）	27	84.4%
	老人会	9	28.1%
	子ども会	19	59.4%
	青年会（青壮年会）	5	15.6%
	婦人会（女性部）	3	9.4%
	その他	9	28.1%
	多面的機能支払活動組織		
	自主防災組織		
	有志による「お楽しみ会」		
	長面農地を守る会		
	長面環境景観保存会		
	地域資源振興会		
	ない		
		72	225.0%

設問	選択肢	回答数	割合	
問2 町内会ではどのような地域活動や行事を行っていますか (複数回答可) n = 32	年始会	22	68.8%	
	納涼会	5	15.6%	
	さいの神(どんど焼き)	23	71.9%	
	お祭り(春祭り、夏祭り、秋祭り)	27	84.4%	
	敬老会	11	34.4%	
	除雪(高齢者住宅、私道、歩道)	4	12.5%	
	交通安全の立哨	10	31.3%	
	美化活動(草刈りなど)	23	71.9%	
	回覧板、広報紙の配布	29	90.6%	
	レクリエーション(ウォーキング、運動会など)	1	3.1%	
	その他	7	21.9%	
	有志による花壇整備			
	自主防災関係の活動(自主防災訓練等)			
	5町内合同敬老会(新保古新田、本新保、茨沢、藤塚、上雲寺)			
	農用地等の適正な管理(農道、小路等)			
	観桜会			
	ない			
		162	506.3%	
問3 問2について、過去3年間で中止・縮小した活動はありますか (複数回答可) n = 32	中止・縮小した活動はない	13	40.6%	
	年始会	1	3.1%	
	納涼会	6	18.8%	
	さいの神(どんど焼き)	0	0.0%	
	お祭り(春祭り、夏祭り、秋祭り)	7	21.9%	
	敬老会	0	0.0%	
	除雪(高齢者住宅、私道、歩道)	0	0.0%	
	交通安全の立哨	0	0.0%	
	防災対策	1	3.1%	
	美化活動(草刈りなど)	0	0.0%	
	回覧板、広報紙の配布	0	0.0%	
	レクリエーション(ウォーキング、運動会など)	1	3.1%	
	無回答	6	18.8%	
		35	109.4%	
問4 問3について、中止・縮小した理由を教えてください (複数回答可) n = 19	人手不足(高齢化、人材不足)	3	15.8%	
	参加者の減少	5	26.3%	
	コロナ感染予防	7	36.8%	
	費用・予算の問題	1	5.3%	
	企画・運営の手間がかかる	6	31.6%	
	その他	1	5.3%	
	アンケートによる必要性の無さ			
		23	121.1%	

設問	選択肢	回答数	割合	
問5 防災対策としてどのような活動を行っていますか (複数回答可) n = 32	避難訓練	14	43.8%	
	防災知識の普及	12	37.5%	
	高齢者世帯の見守り	9	28.1%	
	防災器具点検	10	31.3%	
	資器材等の購入	8	25.0%	
	ない	7	21.9%	
	その他	4	12.5%	
	避難行動要支援同意者および支援を要する人の情報共有(組長・防災役員)			
	自主防災訓練			
	資材取扱研修			
	夜間防犯巡回			
	無回答	1	3.1%	
		65	203.1%	
問6 高齢者のみの世帯の方が、地域の方とコミュニケーションをとることができる機会として、「町内会」での取組や組織にはどのようなものがありますか (複数回答可) n = 32	町内会活動、行事	22	68.8%	
	老人会	5	15.6%	
	サークル活動	2	6.3%	
	見守り・見回り	4	12.5%	
	ない	6	18.8%	
	その他	5	15.6%	
	配布物の配布時に声掛けをする			
	出前サロン			
	家数が少ないので配り物などの時に声掛けする			
	高齢者のみの世帯がない			
		44	137.5%	
問7 「町内会」で行っている高齢者のみの世帯の生活状況を把握できる取組はどのようなものがありますか (複数回答可) n = 32	挨拶・声掛け	21	65.6%	
	ごみ出しなどの手伝い	2	6.3%	
	民生委員との情報共有	17	53.1%	
	把握できない	4	12.5%	
	その他	3	9.4%	
	畑仕事の手伝い(共助)			
	小戸数のため			
	高齢者のみの世帯がない			
	無回答	1	3.1%	
		48	150.0%	

問8 町内会活動を行う上でどのような課題がありますか（自由記述）
・ 若い世代の参加、公民館活動への参加(公民館までの通行手段)。
・ 一斉連絡手段に苦慮している(Lineグループの運用は役員間での運用が限度)、小中学校の一斉連絡システムのようなものが町内会で使用できると通常の活動や災害時の連絡網・安否確認として有効と考える。
・ 共同作業(ゴミ積所の清掃、側溝清掃、ゴミ拾いなど)で高齢を理由に参加できないことによる従事者の減少。
・ 役員のなり手がいない。
・ 役員、会員共に欠席者が出る。
・ 高齢化と人口減、若者不足による町内活動の参加者減や老人会、青年会、子供会が存続できなくなり休眠状態となっている。
・ 参加者の減少、町内行事のマンネリ化。
・ 役員のなり手不足。
・ 当地域は自然災害の影響が少ないせいか、防災訓練時における参加率が低く、町内役員、班長が主体の活動となる場合が多い。
・ 個人情報の開示の礎。
・ 参加者は決まった人ばかりで、若い世代の人の参加が無い事。
・ 町内の本来、各家庭の(昼間、夜間等)在宅人数の把握をしたいと思いますが、何分今時でするので、個人情報もあるので、何人家族で住んでいるのか知ることが難しいと考えています。緊急時のためには町内会長として知っておきたいと思っているのですが。
・ 世帯数も少なく、高齢者が多く、参加できるものがない。
・ 我が町内も高齢化して、行事を行う時の協力者が少ない。
・ 町内会の行事が全員に過度な負担とならないと同時に、風通しの良い町内とすることが課題。
・ 出席者の固定化。
・ 世帯の後継者不足→構成員高齢化。
・ 今後、会計を担当する役員がいない(パソコン処理)。
・ 高齢化に伴う、役員交代がスムーズに進まない。中間の年齢の人がいない。
・ 組織を繋ぐための人がいない。会長に言えバいいと思っている人がいる。→解決してくれると思っている。
問9 問8の課題について、解決に向けた取組を実施している場合は、どのような取組か教えてください（自由記述）
・ 組織的な取組はしていないが、集会時などを利用して役員などが声掛けしてコミュニケーションをとるようにしている。
・ 町内一斉連絡手段はないので、文書で至急回覧する他なく、解決に向けた取り組みにはなっていない。
・ 年齢を重ねることは、生理的なものでどうしようもない。なんでも自分でしようとする意欲が弱いと思います。
・ 以前から農家組合として行なっていた共同作業を今後「非農家の方」にも参加依頼(お願い)を町内として意見を聞き承諾を得た。
・ 参加しやすい期日の設定。
・ お知らせ版、広報紙等による参加の啓発活動。
・ 行政(市役所)への必要に応じて個人情報の開示を要求。
・ 町内の方々に参加の声掛けをしている。
・ 高齢化しているため、行事を行なう時には、青年会、子供会を主体として行なっている。
・ 行事の簡素化。
・ 町内会役員と農家組合役員を兼務することで役員数を減らした。

問10 現在の町内会活動に対する想いをお聞かせください（自由記述）
・ 次の世代が参加できる魅力ある町内会運営を模索中である。ゆるくつながる雰囲気も必要なかもしれない。
・ 役員会・総会、防災訓練、祭り、賽の神、クリーン活動といった現在の活動を地道に継続していく。
・ 2050年には、現在61が→43になることが予想されます。いかにして、それらを続けられるか、また、役員をやる若者が手をあげない。応分の負担も考えています。
・ 役員を早く辞めたい。
・ 今まで手付かずだったファイル化、電子データ化を進め、町内転入者でもすぐ役員になれるようにしたい。
・ 小規模町内のため、町内活動資金も決して多くなく、やってみたい活動や防災防犯資機材を揃えたいと思っても資金面で決断できない点があり、町内の活発化に向け頭を抱えております。
・ 町内のコミュニケーションを深めるための新たな行事等をアイデアを募集しながら創設していきたい。
・ ①3年程前に青壮年会を立ち上げたので見守っていきたい ・ ②小学生までは子供会で町内会がつながっているが、中・高校生との接点がなく困っている。
・ 住民の地域に対する共存共栄心が年々うすらいでいることに危機感を感じている。色々な手法を講じてはいるが、住民の反応は「参加」となって表れていないのが現状。
・ 若い年代の人達の町内会離れをどう防ぐか非常に難問で、今のところ良い打開策が見つからない。
・ 今は70才位まで勤めているので、なかなか町内の役員になってくれる人がいない。
・ 私が町内会長を始めてから空き家が増えています。このままだと空き家がどんどん増えると思いますが、何をするにも高齢者が増えているので、若い方に声をかけるようにしています。
・ 今後、若い世代がどのように活動するのか、多少の不安あり。
・ 役員はほぼ協力的なのだが、町民の意識が今ひとつ上がらない。

2 町内会役員について

【目的】人口減少と高齢化が進む中、どの分野においても「担い手不足」が挙げられているため、町内会における現状を把握する。

設問	選択肢	回答数	割合	
問1 役員構成(正副会長、会計、書記、監事など、班長を除いた執行部)は何人いますか (単一回答) n = 32	1人	4	12.5%	
	2人	1	3.1%	
	3人	3	9.4%	
	4人	5	15.6%	
	5人	4	12.5%	
	6人以上	12	37.5%	
	無回答	3	9.4%	
		32	100.0%	
問2 【問1について】その内、女性は何人いますか (単一回答) n = 32	0人	23	71.9%	
	1人	3	9.4%	
	2人	2	6.3%	
	3人	1	3.1%	
	4人	0	0.0%	
	5人	0	0.0%	
	6人以上	0	0.0%	
	無回答	3	9.4%	
		32	100.0%	
問3 【問1について】その内、働いている人は何人いますか (単一回答) n = 32	0人	2	6.3%	
	1人	4	12.5%	
	2人	4	12.5%	
	3人	4	12.5%	
	4人	5	15.6%	
	5人	5	15.6%	
	6人以上	4	12.5%	
	無回答	4	12.5%	
		32	100.0%	
問4 現在、町内会の役員や活動の担い手不足を感じていますか (単一回答) n = 32	非常に感じている	16	50.0%	
	ある程度感じている	12	37.5%	
	あまり感じていない	1	3.1%	
	まったく感じていない	1	3.1%	
	無回答	2	6.3%	
		32	100.0%	

設問	選択肢	回答数	割合
問5 役員(正副会長、会計、書記、監事など、班長を除いた執行部)はどのように選出していますか (単一回答) n = 32	輪番制	3	9.4%
	話し合い	18	56.3%
	選挙	3	9.4%
	その他	6	18.8%
	現役員のなかで原案を示し、承認を得る		
	町内17組を8つ選出母体とし、各選出母体から1名選出。各選出母体の中では役員の仕事に対応可能な世帯で輪番制		
	選考委員による話し合い		
	推薦を受け、同意した方から引き受けてもらう		
	役員会で決め総会に議案として提出		
	選考委員会(新旧組長)を設置		
	無回答	2	6.3%
		32	100.0%
問6 役員を確保するために工夫していることはありますか (複数回答可) n = 32	組織の見直し(業務の分散化)	13	40.6%
	業務のデジタル化(負担減)	3	9.4%
	その他	7	21.9%
	総会や各種会議後、神社の祭礼でも飲み会、慰労会をやめた		
	業務の休止、簡素化		
	役員改選期年度には町内集会を早めに開催し住民の意識を促す様にしている		
	日頃のコミュニケーション		
	一年毎に担当を変更、属人的にならないようにする		
	定年制の延長		
	次に役員となる人材を多面的機能支払い交付金の役員に選び町内会役員と行事に出る		
	無回答	12	37.5%
		35	109.4%

3 子ども会活動について

【目的】少子化が進む中、「子ども会」の活動状況について確認する。

設問	選択肢	回答数	割合	
回答される方について教えてください (単一回答) n = 32	町内会長	25	78.1%	
	町内会の子ども会担当	3	9.4%	
	子ども会役員代表者(町内会とは別組織)	1	3.1%	
	その他	0	0.0%	
	無回答	3	9.4%	
		32	100.0%	
問1 現在、子ども会はありますか (単一回答) n = 32	ある(町内会単位)	15	46.9%	
	ある(隣接町内と合同で組織化)	5	15.6%	
	ない	9	28.1%	
	無回答	3	9.4%	
		32	100.0%	
問2 【問1で「ある」と回答した方】町内全 体で子ども会へ加入している子ど もは何人いますか (自由記述) n = 20	1人	2	10.0%	
	2人	1	5.0%	
	4人	4	20.0%	
	5人	2	10.0%	
	7人	4	20.0%	
	10人	2	10.0%	
	11人	1	5.0%	
	14人	1	5.0%	
	21人	1	5.0%	
	27人	1	5.0%	
	30人	1	5.0%	
		20	100.0%	
問2-2 【問1で「ある」と回答した方】子ども 会では、どのような行事や活動を行 っていますか (複数回答可) n = 20	お祭り	5	25.0%	
	バーベキュー大会	3	15.0%	
	ラジオ体操	11	55.0%	
	ハロウィン	1	5.0%	
	クリスマス	4	20.0%	
	遠足	1	5.0%	
	その他	17	85.0%	
	お楽しみ会			
	さいの神(手伝い含む)			
	歓送迎会(卒業生のお別れ会、顔合わせ会)			
	町内会活動の美化運動参加			
	日帰り旅行			
	立哨(小学生対象)			
	夏のレクリエーション			
	各町内会イベントへの参加			
	花火			
		42	210.0%	

設問	選択肢	回答数	割合
問2-3 【問1で「ある」と回答した方】役員を確保するために工夫していることはありますか (複数回答可) n = 20	組織の見直し(業務の分散化)	5	25.0%
	業務のデジタル化(負担減)	2	10.0%
	その他	5	25.0%
	輪番制で申し送りをしっかりとしている		
	習い事等で集まることが困難になってきていたため、祭りは灯籠づくりなどの準備作業を廃止して、当日参加するだけにするなど、行事の内容を変えてきている。		
	都度話し合いをし、平等な役員決め		
	保護者会に一任		
	子育て世代の移住		
	無回答	8	40.0%
		20	100.0%
問3 【問1で「ない」と回答した方】これまでに子ども会は設置されていましたか (単一回答) n = 9	以前はあったが、なくなった	7	77.8%
	子ども会が存在していたことはない	1	11.1%
	回答無し	1	11.1%
		9	100.0%
問3-2 【問1で「ない」と回答した方】子ども会がない理由を教えてください (複数回答可) n = 9	子どもが減った、いなくなった	7	77.8%
	保護者の負担が大きい	0	0.0%
	地域でのニーズがなくなった	0	0.0%
	トラブルや不公平感があった	0	0.0%
	その他	1	11.1%
	回答無し	1	11.1%
		9	100.0%
問4 現在の子ども会活動に対する想いをお聞かせください (自由記述)			
・ コロナ禍以前には、書き初め会をしていた。町内のボランティアが指導をしながら一斉に取り組んでいたのも、新鮮味があり好評であった。何とか再開できればと願っている。町内会館を身近に感じてもらえればいい。			
・ なるべく地域と子供たちが接する機会を設けていきたい。			
・ 親同士の繋がりができるので無くさないでほしいと思う。			
・ 昨年度より子供会への活動補助を増額し、活性化を望んでいる。			
・ 子供の数が減ってくる可能性があり、今後の課題が多い。			
・ 約5年後位には、今の現状では子供がいなくなり、子供会が存続しなくなる。			
・ 子供がたくさんいれば何か活動が出来るのですが、今は親御さんに任せているのが現実です。			
・ コロナが落ち着いて少しずつ行事もできるようになってきた。今、この時に行事の見直しをして受けついでいく所は残し、無駄な部分は縮小するなどして、現代の時代に合わせた活動をしていこうと思う。			
・ 子供の時の思い出は一生物なので、できる限りは作ってあげたい。そして、この事を次の世代につなげていきたい。			
・ 子供たちが仲良くできるようなイベントへの取り組みをしていけたらと思っています。			
・ 2年後には3人になる予定。子供会を存続させたい。			

- ・ 子供や子供世帯数が減少していること、親の活動に関する考えややり方の変化、学校でも先生方の働き方改革や、コロナなどの感染症による活動制限など、世の中や大人の事情で、子供たちにとって思い出になる活動が減っている昨今。小さい地域ならではの活動を考え、子供会として楽しむだけでなく、普段からお世話になっている地域の方達とのふれあいも大切にしながら、活動できたらと思っています。ただ、現状子供の人数・世帯数減少により、今年度より隣の町内と合併することになりました。デメリットばかりに目を向けずに合併で協力し合っていきたいと思っていますが、合併した今からしても、先数年で子供の人数と世帯数は更に激減し又、子供会のやり方等を検討しざるを得ません。親である私たちが努力しながら、地域の方などからもお力添えをいただきながら、子供たちがここに生まれて良かったと思えるようにできたらありがたいなと思っています。